

3年生

今回阿蘇シンポジウムに初参加させていただきましたが、さまざまな分野のお話が聴けて、大変勉強になったと思います。前回までは免疫学を中心としたお話だったということですが、今回は生命科学全般の、バリエーションのある講演でした。個人的には東京大学の宮崎教授の、AIMIについての講演が興味深かったです。新しく発見された分子がさまざまな疾患と関連をもち、新薬開発の可能性を持つというお話には、大変感銘を受けました。まだまだ人体には未知の分子・機構があり、それを明らかにしていこうという研究活動を、改めて面白いと感じました。また、それ以外にもさまざまな分野のお話が聴け有意義な時間を過ごすことができ、参加して良かったと思いました。

今回のシンポジウムは免疫学だけにこだわらず、生命科学全般にテーマを広げたことで、まだ知識の浅い学部生の自分たちでもある程度聞きやすくなっていたと思いますし、何よりプロの研究者による発表と会場の雰囲気を感じることが、今後研究者を目指すうえで大変貴重な経験になったと思います。また機会があれば参加させていただきたいです。(M.Y.)

今年の阿蘇シンポジウムのテーマは「バイオメディカルの本質を問う」で、様々な分野の先生方のお話を聞くことができ、大変貴重な経験となりました。昨年参加したときは、内容のほとんどを理解することができずに終わってしまいましたが、今年は自分が興味を持っている分野の先生のお話もあったこともあり、完璧ではありませんが、理解しながら聞けたと思います。また、今まで触れたことのないような分野のお話もたくさんあり、自分の研究に対する視野を広げることができました。今後の自分の進路の選択肢を増やす良い機会になったと思います。(Y.T.)

2年生

私にとって阿蘇シンポジウムの講演の内容は難しく、すべての内容を理解できたわけではありませんが、今進行中の研究の話などたくさん話を聞いてよかったです。普段の大学での講義とは違った雰囲気、特に講演後の研究者同士の討論の様子は今まで経験したことがなかったので、その様子を見ることができただけでも参加してよかったですと感じました。今回阿蘇シンポジウムに参加して、もっとたくさんのことを学んで様々なことを知りたいと思いました。またこのような機会があれば積極的に参加して自分の興味や視野を広げていきたいと思っています。(H.O.)

今回初めて阿蘇シンポジウムに参加させていただきました。講演の内容は難しく、専門科目の勉強が始まったばかりで、理解できないことの方が多かったのですが、様々な分野の講演を聴き、先端の研究について知ることができ、とても貴重な経験となりました。また、これまでの大学の授業内容の大切さを感じると同時に、これから先の授業も将来の研究にとっても大切であると感じました。これからの授業を疎かにせずに、しっかりと学習をして、来年の阿蘇シンポジウムでは今年よりも有意義な時間が過ごせるよう努力したいと思います。(M.K.)

今回初めて阿蘇シンポジウムに参加させて頂きました。専門的な内容ばかりで完璧に理解することは出来なかったのですが、非常に楽しく聞くことが出来ました。二年生という様々な分野の知識がまだまだ深まっていない時期にシンポジウムに参加することには不安がありましたが、結果的には良かったと感じています。特に興味を持って聞くことが出来たのは慶應義塾大学の佐谷教授の新規がん治療戦略のお話でした。がん細胞の酸化ストレス耐性の機構の説明では生化学で学んだ知識も出てきて、今学んでいることが将来に繋がっていると実感することが出来ました。そして、これから出てくる分野をしっかりと学んでいこうと思えるモチベーションとなりました。また、プレゼンテーションの構成や質疑応答の応酬はとても刺激的なものでした。来年はもっと知識を身につけてシンポジウムに臨み、少しでも多く理解できるように日々精進していきたいと思っています。最後となりましたがこのような機会を提供してくださった化血研の皆様ありがとうございました。(S.T.)